

ビーリンサイト®点滴静注用35 μ g 調製・投与方法

本紙では、ビーリンサイトの調製・投与方法について手順を解説するとともに、留意点を説明しています。

重要 輸液安定化液は、生理食塩液輸液バッグに加えてください。



用意するもの

ビーリンサイトの製品箱には同梱されていません。調製ごとにご用意ください。

■ 注射用水

・本剤の溶解 1 バイアルにつき、注射用水3 mLが必要です。

■ 生理食塩液

・生理食塩液を全量として270mLとなるように調製する。

■ 無菌フィルター※1 (0.2 μ m) 付き輸液セット

【フィルター】無菌でピロジェンフリーかつ低タンパク質結合性※2のものを用いる。
 ※1：外付けフィルターの場合、ライン部分の材質にも注意してください。
 ※2：フィルターの透過性(親水性)膜の材質を確認してください。

	生理食塩液輸液バッグ※3	無菌フィルター※1 付き輸液セット	
		輸液セット	フィルター※2
推奨材質	<ul style="list-style-type: none"> EVA製 PVC製(可塑剤:TOTM使用) ポリオレフィン製 ポリブタジエン製 PE製 	<ul style="list-style-type: none"> PES製 PVDF製 PSF製 	<ul style="list-style-type: none"> PES製 PVDF製 PSF製
非推奨材質	<ul style="list-style-type: none"> PVC製(可塑剤:DEHP使用) 		<ul style="list-style-type: none"> ナイロン製 PTFE製

※3：輸液ポンプがカセット式の場合は、カセットを含む。

EVA：酢酸ビニル
 PVC：ポリ塩化ビニル
 TOTM：トリメリット酸トリス-2-エチルヘキシル

PE：ポリエチレン
 PES：ポリエーテルスルホン
 PVDF：ポリフッ化ビニリデン

PSF：ポリスルホン
 DEHP：フタル酸ジ-2-エチルヘキシル
 PTFE：ポリテトラフルオロエチレン

ビーリンサイト輸液バッグの調製手順

ステップ1 生理食塩液の調製

250mL生理食塩液の充填済み製剤を使用する場合、輸液バッグに生理食塩液を**全量として270mL**※4となるように調製してください。

※4：充填済み製剤を使用する場合には過剰充填の可能性を考慮して調製してください。

ステップ2 輸液安定化液の添加

ステップ1で調製した生理食塩液に**輸液安定化液5.5mL**※5を無菌的に加えてください※6。

※5：輸液安定化液は、本剤が輸液バッグや輸液チューブに吸着するのを防ぐものです。
 ※6：溶液が泡立たないように注入後ゆっくりと攪拌してください。

ステップ3 ビーリンサイト点滴静注用35 μ gの溶解

ビーリンサイト・バイアル1本につき**注射用水3mL**で溶解してください※7。(溶解後の容量：3.1mL、最終濃度：12.5 μ g/mL)

(使用バイアル数は裏面の「ビーリンサイト溶解液の必要量確認表」を参考にしてください)
 ※7：注射用水をバイアル壁に沿わせて無菌的に注入し、振らずにゆっくりと攪拌してください。

ステップ4 調製したビーリンサイト溶解液の観察

濁り・沈殿物・変色がないか観察してください※8,9。

※8：ビーリンサイト溶解液は無色～淡黄色の液体です。
 ※9：濁り、沈殿物、変色がある場合は使用しないでください。

ステップ5 調製したビーリンサイト溶解液を輸液バッグに添加

ステップ4で観察したビーリンサイト溶解液を、ステップ2で調製した輸液バッグに無菌的に注入してください※10,11。

(注入する溶解液量は裏面の「ビーリンサイト溶解液の必要量確認表」を参考にしてください)

※10：注入後、溶液が泡立たないようにゆっくりと攪拌してください。
 ※11：本剤の調製にあたり、予定している投与量を超えた量のビーリンサイト溶解液を輸液バッグに添加する必要があります。

ステップ6 輸液セットの接続

輸液セットをビーリンサイト輸液バッグに取り付け、ステップ5で調製した溶液のみで輸液チューブをプライミング※12してください。※12：輸液チューブの内腔を溶液で満たすこと。

ビーリンサイト溶解液の必要量確認表



体重 45kg 以上の場合

体重 45kg 以上の患者	1日 9 μ g				1日 28 μ g			
投与時間 (注入速度)	24時間 (10mL/時間)	48時間 (5mL/時間)	72時間 (3.3mL/時間)	96時間 (2.5mL/時間)	24時間 (10mL/時間)	48時間 (5mL/時間)	72時間 (3.3mL/時間)	96時間 (2.5mL/時間)
本剤溶解液注入量	0.83mL	1.7mL	2.5mL	3.3mL	2.6mL	5.2mL	8.0mL	10.7mL



体重 45kg 未満の場合

体重 45kg 未満の患者	1日 5 μ g/m ²				1日 15 μ g/m ²			
体表面積 (m ²) \ 投与時間 (注入速度)	24時間 (10mL/時間)	48時間 (5mL/時間)	72時間 (3.3mL/時間)	96時間 (2.5mL/時間)	24時間 (10mL/時間)	48時間 (5mL/時間)	72時間 (3.3mL/時間)	96時間 (2.5mL/時間)
> 1.8	0.83mL	1.7mL	2.5mL	3.3mL	2.6mL	5.2mL	8.0mL	10.7mL
1.7 - 1.79	0.79mL	1.6mL	2.4mL	3.1mL	2.4mL	4.7mL	7.1mL	9.4mL
1.6 - 1.69	0.74mL	1.5mL	2.2mL	3.0mL	2.2mL	4.4mL	6.7mL	8.9mL
1.5 - 1.59	0.7mL	1.4mL	2.1mL	2.8mL	2.1mL	4.2mL	6.3mL	8.4mL
1.4 - 1.49	0.66mL	1.3mL	2.0mL	2.6mL	2.0mL	3.9mL	5.9mL	7.9mL
1.3 - 1.39	0.61mL	1.2mL	1.8mL	2.4mL	1.8mL	3.7mL	5.5mL	7.3mL
1.2 - 1.29	0.56mL	1.1mL	1.7mL	2.3mL	1.7mL	3.4mL	5.1mL	6.8mL
1.1 - 1.19	0.52mL	1.0mL	1.6mL	2.1mL	1.6mL	3.1mL	4.7mL	6.2mL
1 - 1.09	0.47mL	0.94mL	1.4mL	1.9mL	1.4mL	2.8mL	4.2mL	5.7mL
0.9 - 0.99	0.43mL	0.85mL	1.3mL	1.7mL	1.3mL	2.6mL	3.8mL	5.1mL
0.8 - 0.89	0.38mL	0.76mL	1.1mL	1.5mL	1.1mL	2.3mL	3.4mL	4.6mL
0.7 - 0.79	0.33mL	0.67mL	1.0mL	1.3mL	1.0mL	2.0mL	3.0mL	4.0mL
0.6 - 0.69	0.29mL	0.57mL	0.86mL	1.2mL	0.86mL	1.7mL	2.6mL	3.4mL
0.5 - 0.59	0.24mL	0.48mL	0.72mL	0.97mL	0.72mL	1.4mL	2.2mL	2.9mL
0.4 - 0.49	0.2mL	0.39mL	0.59mL	0.78mL	0.59mL	1.2mL	1.8mL	2.3mL

ビーリンサイト必要バイアル数: 1本、 2本、 3本、 4本

注) ビーリンサイト溶解液はバイアル1本につき2.8mL採取可能として計算。

投与時の注意点

- 輸液バッグの交換は医療従事者が行ってください。
- ビーリンサイト輸液バッグに無菌フィルター (0.2 μ m) 付き輸液セットを接続した輸液ポンプ (流速を適切に管理可能なもの) を用いて、**ビーリンサイト溶解液の必要量確認表** に示す注入速度に従って持続点滴静注してください。
- ビーリンサイト輸液バッグ交換時や投与終了時に投与ラインや静脈カテーテルをフラッシュしないでください。
- ビーリンサイト輸液バッグは、投与スケジュールに準じて交換してください。
- 輸液チューブやビーリンサイト輸液バッグに溶液が残っていても、設定した投与時間が経過したタイミングで交換を実施してください*。

* ビーリンサイト輸液バッグには投与量よりも多く薬剤が添加されており、輸液を全量投与すると過量投与となります。
詳細は電子化された添付文書をご参照ください。

監修 独立行政法人 国立病院機構 名古屋医療センター 臨床研究センター 上席研究員 **堀部 敬三** 先生
金沢大学医薬保健研究域医学系 血液内科学 教授 **宮本 敏浩** 先生
(監修者の所属・役職は2024年1月作成時のものです)